

別記様式（第8条関係）

議会報告会実施報告書

開催日時	令和7年10月20日 午後6時30分～午後8時00分	
開催場所	喜連川公民館	
出席議員	司会者	大河原 千晶
	報告者	加藤 誠一
	記録者	岡村 浩雅
参加人数	合計 50名 総務常任委員会参加者 10名 文教厚生常任委員会参加者 11名 建設経済常任委員会参加者 18名 傍聴人 11名	
実施内容	1、議会からの報告 2、意見交換 総務常任委員会 • さくら市に欲しい施設について • 選挙の投票率について 文教厚生常任委員会 • 子育てについて • 栃木SCとの連携について 建設経済常任委員会 • お丸山公園整備について • 氏家駅東再整備について	
主な意見、提言等	文教厚生常任委員会（分科会）報告書 テーマ 「子育てについて」 ○保育・幼児教育 • 0～3歳児の預かり先が少なく受け入れ体制の充実を望む (通常保育、一時保育) • こども誰でも通園制度の拡充 • 弟兄で同じ園に通えるようにしてほしい • 学童保育を保育園と同じ時間帯まで利用できるようにしてほしい • トコトコ大田原やキッズピア足利のような、子どもが遊べる屋内施設の設置や誘致。また、遊具のある公園など子どもたちが遊べる場所を増やしてほしい • 養護園のお弁当配食が今年度から隔週（2週に1度）になったが、週1回に戻してほしい(子ども家庭センター 支援対象児童等見守り強化事業) ○学校教育・学習環境 • 制服や体操着をSDGsの観点から、使い回しできるデザインに変更してほしい • 試験前には図書館の自習室はいつも一杯で使用できない。自習室の拡充、自習室として使える場所を増やしてほしい • 通学路の安全確保（特に喜連川地区、商店街）歩道が狭く危険 • 子ども達の見守り、情報共有のため、アプリで持ち物・宿題・登下校確認な	

どができるシステムを導入して欲しい
○情報発信・その他
・子育てに関する情報（支援・イベント・医療など）がHP、アプリ、ガイドブックなどに分散しているので一元化した情報提供体制を整備してほしい
・成人独身者が交流できる機会や場所をつくってほしい

『所感』

子育て中の市民から当事者目線で意見や要望を頂いた。当事者目線で考えると制度の不備や不都合性が浮き彫りになった。

『まとめ』

子育て支援は当事者目線での支援を再検証することが必要であり、また子育て分野におけるDXの推進（スマホアプリ）や子育て情報の一元化（支援、医療、イベント等）が求められる。

テーマ

「栃木SCとの連携について」

- ・栃木SC天然芝グラウンド、SAKURAグリーンフィールド、露天風呂、B&G海洋センタープール、保健センターなどの利用の連携、及び栃木SCのグラウンドとSAKURAグリーンフィールドの間に階段など設置して歩いて行き来しやすい環境整備
- ・栃木SCアカデミーと市内3種（中学生）4種（小学生）チームとの交流の実施
 - ・Jリーガーとふれ合えるようなサッカー（スポーツ）イベントの開催（合わせて天然芝グラウンドの開放）
 - ・スポーツ・教育・商工・農業との連携強化（地域の回遊性UP）
 - ・駐車場の整備
 - ・SCのサポートーカンファレンスの実施、さくら市をマザータウンからホームタウンへ変更
 - ・市民へのPR（市内に横断幕の設置、市民が練習を見る機会の創出、飲食店の紹介、広報さくらでの選手紹介）

『所感』

栃木SCの練習場が設置されることによる期待感が感じられる内容であった。

『まとめ』

- ・栃木SC練習場設置に伴い選手と市民（特に小中学生）との交流の場の設定。
- ・喜連川練習場周辺の整備。グリーンフィールド、露天風呂、B&G海洋センタープール、保健センターを回遊できる環境整備。
- ・スポーツ、教育、農商工との連携で地元への経済効果を上げる仕組み作り。
- ・市民へのPRの実施（横断幕、のぼり旗の設置、広報さくらでの選手紹介等）などの取り組みが求められる。

令和7年11月18日

さくら市議会議長様

さくら市議会報告会実施要綱第10条第1項の規定により別紙を添付して報告いたします。

令和7年議会報告会

班長 加藤 誠一 